

## 研修プログラム概要

研修期間	2.25 年間
研修病院（代表病院）	箕面市立病院
研修協力病院（パートナー病院）	下記のいずれかの施設 第二協立病院、協立記念病院、協和マリナホスピタル、協和会病院、千里中央病院
研修協力薬局（パートナー薬局）	

区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】	10ヶ月	1年目（4-8月） 2年目（4-8月）	箕面市立病院 パートナー病院	・ 基本的な調剤・鑑査、疑義照会手技の確立、製剤、注射薬調剤 ・ 散剤・水剤・軟膏の混合調製手技の習得
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】	2ヶ月	1年目（5月） 2年目（8月）	箕面市立病院 パートナー病院	・ 医薬品供給体制の理解、発注・在庫管理・各部署への払出し業務等の実践 ・ 麻薬、向精神薬、毒薬等の管理実務
必修	(3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】	2ヶ月	1年目（11月） 2年目（10月）	箕面市立病院 パートナー病院	・ DI業務、質疑応答の実践、プレアボイド報告 ・ 新薬採用審査における評価資料、DIニュースの作成
必修	(4) 病棟業務 （薬剤管理指導） 【6ヶ月程度】	13ヶ月	1年目（11-3月） 2年目（10-3月） 3年目（4-5月）	箕面市立病院 パートナー病院	・ （急性期）内科系・外科系中心にローテーション ・ （慢性期）回復期・緩和ケア・障害者等をローテーション ・ 症例報告（10症例）の作成
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	1ヶ月	3年目（6月）	箕面市立病院	・ 老人保健施設の薬剤師の役割習得 ・ 訪問看護ステーションでの薬剤師の役割習得、多職種連携の実践 ・ 急性期から慢性期・在宅まで地域包括ケアシステム全体を学び実践
必修	(6) 医療安全 【全期間】	全期間	通年	箕面市立病院 パートナー病院	・ インシデントレポート作成、分析 ・ KYT（危険予知訓練）
必修	(7) 感染制御 【全期間】	全期間	通年	箕面市立病院 パートナー病院	・ ICTラウンド同行、抗菌薬使用届出の確認 ・ 標準予防策（手指衛生等）の実践
必修	(8) 地域連携 【全期間】	全期間	通年	箕面市立病院 パートナー病院	・ トレーシングレポート運用、退院時サマリー作成 ・ 地域連携研修会参加、地域保険薬局との情報交換
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	4ヶ月	1年目（5-6月） 2年目（7-8月）	箕面市立病院 パートナー病院	・ 高カロリー輸液、抗がん剤の無菌調製手技 ・ 閉鎖式接続器具（CSTD）の適正使用
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	2ヶ月	1年目（9-10月）	箕面市立病院 パートナー病院	・ レジメンチェック、支持療法の提案 ・ 外来化学療法室での薬剤師外来（面談）の実践
必修	(11) TDM	随時	1年目 2年目	箕面市立病院 パートナー病院	・ 抗菌薬・免疫抑制剤等の解析・投与設計レポート作成
必須	(12) テーム医療・専門領域	随時	1年目 2年目	箕面市立病院 パートナー病院	・ NST、ICT、褥瘡、心不全、HCU、小児、周産期等における薬剤師の役割習得
必須	(13) その他	随時	1年目 2年目	箕面市立病院 パートナー病院	・ 1年間の総括として法人多職種によるふりかえり報告会での発表 ・ 新人薬剤師臨床研究研修プログラム 「研究を志向する薬剤師を目指してー臨床疑問から臨床研究へー」

**補足事項** 研修生により研修時期は異なります。  
 1年目4月～2年目6月：代表病院で研修  
 2年目7月～3年目6月：パートナー病院のいずれかの施設で研修